



ULVAC REPORT

第115期 中間報告書
2018年7月1日～2018年12月31日

ULVAC

証券コード：6728

経営基本理念

アルバックグループは、互いに協力・連携し、真空技術及びその周辺技術を総合利用することにより、産業と科学の発展に貢献することを目指す

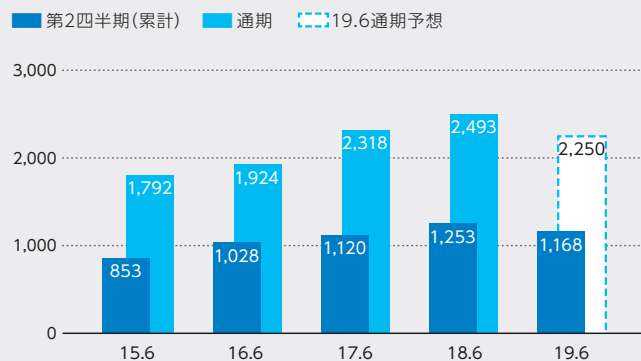
経営方針

- 顧客満足 of 増進
- 生産技術の革新
- 独創的な商品開発
- 自由闊達な組織
- 企業価値の向上

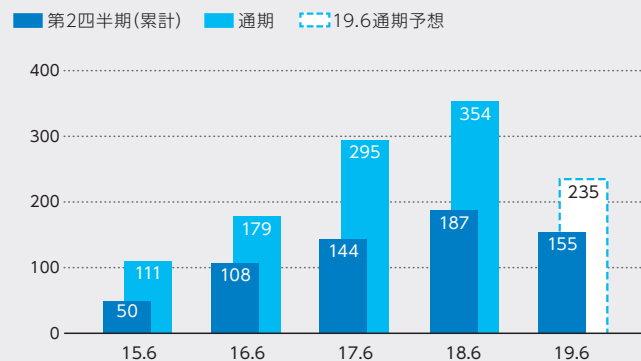
連結業績ハイライト

※記載金額は億円未満を四捨五入して表示しております。

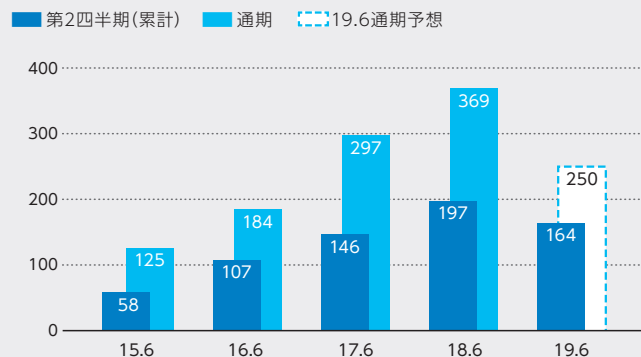
売上高 (単位: 億円)



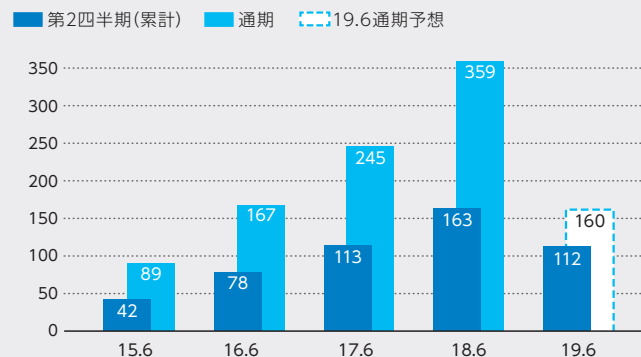
営業利益 (単位: 億円)



経常利益 (単位: 億円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位: 億円)



トップメッセージ

中長期的には、スマート社会の進展に向けた投資が活発に

進展するスマート社会の潮流の中でイノベーションに挑戦してまいります。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当中間期(当第2四半期連結累計期間)におけるアルバックグループを取り巻くエレクトロニクス市場においては、データセンター向けサーバー需要の増加等によるメモリ需要の拡大を受け、半導体メモリーメーカーの設備投資が継続してまいりましたが、足元では需要の鈍化等により新規設備投資延期の動きが見られました。一方、フラットパネルディスプレイ(FPD)業界においては、テレビ用パネルの大型化、高精細化に伴う大型液晶パネルの設備投資が中国を中心として継続しました。スマートフォン向け有機ELパネルの設備投資は韓国で投資抑制はあるものの、他地域での設備投資は継続しました。

アルバックグループにおける当中間期の連結業績は、受注高は1,195億円、売上高は1,168億円となり、損益につきましては、営業利益は155億円、経常利益は164億円、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては112億円となり、それぞれ前年同期を下回りました。また、当初予想に対して受注高は想定並みとなりましたが、売上高は太陽電池関連、半導体メモリ関連の客先投資計画変更等により未達となり、各利益項目も当初予想を下回りました。

通期予想については、当中間期における売上高及び各利益項目の未達に加え、FPD及びPV製造装置や半導体製造装置等の受注減少による売上高及び営業利益の減少が見込まれるとともに、開発要素の高い案件のコスト増加が見込まれることもあり、売上高及び各利益項目を下方修正いたしました。

なお、2019年6月期の期末配当予想に変更はなく、現時点では2018年8月8日の配当予想(1株当たり105円)を据え置きます。

中長期的にはスマート社会の進展に向けた投資が活発化するとみられます。このスマート社会の実現にはアルバックの真空薄膜技術が不可欠であり、アルバックグループは、進展するスマート社会の潮流の中でイノベーションに挑戦し、半導体・電子機器事業を中心に、新たな需要を創出し続けるとともに、大型TV向けLCD(液晶)、スマートフォン用有機ELパネル等向けのFPD製造装置需要に着実に対応することで、持続的な成長と企業価値向上に取り組んでまいります。2023年6月期の目標として掲げた売上高3,000億円、営業利益率16%に変更はありません。

株主の皆様には、なお一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしく御礼申し上げます。

代表取締役執行役員社長

岩下 節生



アルバックグループは、真空技術の総合メーカーとして、社会課題を解決するソリューションの提供を通じて、社会の発展に貢献し、未来の価値創造に挑戦していきます。

TOPICS

大阪大学内に「アルバック未来技術協働研究所」を開設

基礎研究拠点の設置と人財育成貢献への取り組み

株式会社アルバックと、国立大学法人大阪大学(本部:大阪府吹田市、総長:西尾章治郎、以下「大阪大学」)大学院工学研究科は、2018年11月1日に大阪大学吹田キャンパス内のセンテラス棟に、「アルバック未来技術協働研究所(以下「協働研究所」)」を開設しました。協働研究所では、大阪大学の産学連携の枠組みを通じて、相互の研究者の人財交流を図り、研究開発ネットワークを構築するとともに、医工学分野における学術の発展、技術課題の解決、及び創造力豊かな大学の人財育成への貢献をめざします。また、当社においては、基礎研究拠点として位置付け、アルバックのオリジナル技術をベースにした次世代のFPD応用や人工光合成に繋がる半導体量子ドット創製とその量産技術の検討、さらに超高速冷凍乾燥技術の医学応用(細胞保存)という新たな価値創出をめざします。



大阪大学吹田キャンパス内 センテラス棟

研究テーマ

- ① 希土類窒化物を用いた極低温蓄冷材の創製
- ② 異方性、材質制御した合金粉体の創製
- ③ 超高速冷凍乾燥技術による細胞保存の確立 など

アルバック未来技術協働研究所の概要

名称：アルバック未来技術協働研究所
(アルバック 未来技術研究所大阪研究部)
設置場所：大阪大学吹田キャンパス内 センテラス棟4階
研究体制：所長 山本 孝夫
(大阪大学 大学院工学研究科 教授)
副所長 村上 裕彦
(アルバック 未来技術研究所長、シニアフェロー)
上記含め、教員及び研究員11名(非常勤含む)

TOPICS

カスタマーサポート本部の新設

製品・製造・生産・サービスの統合により、お客様の価値を高めるサービスを提供

2019年1月1日にアルバックグループのカスタマーサポート事業を統括するため、カスタマーサポート本部を発足いたしました。

目的は、グループ一体化で生まれるシナジーを引き出し、各国・各社のカスタマーサポート事業を成長させ、事業の大きな柱にすることです。

半導体・電子機器事業をFPDに並ぶ第2の柱に

半導体製造装置においては、メモリとロジックの両輪で成長

すべてのモノとコトがインターネットを通して繋がる、「IoT」時代が到来しつつあります。AI、ロボット、5G、自動運転などを支える半導体と電子デバイス業界において、数十年に1度の大きな技術革新が起きており、当社にとって大きなビジネスチャンスと捉えています。IoTに欠かせない半導体・電子機器事業を第二のビジネスの柱にする当社の経営戦略は、実現の一步を踏み出しています。メモリとロジックの両輪で成長を目指す半導体製造装置においては、従来のメモリ向けに加え、大手ロジックラインの最先端微細配線工程で当社のスパッタリング装置が採用されました。

半導体用
スパッタリング装置
ENTRONシリーズ



お客様の声を尊重し、お客様の生産ラインをすべての面で迅速にサポートし、お客様の満足度を最大限に高め、次のビジネスに繋げていくことを基本理念に掲げます。これまで構築してきたカスタマーサポート・ビジネス・プラットフォームを活用し、装置・機器のライフエンドまでの期間に利益を出し続けられるようなスキームを構築し、各国・各社に合わせた戦略を立案、事業を展開していきます。

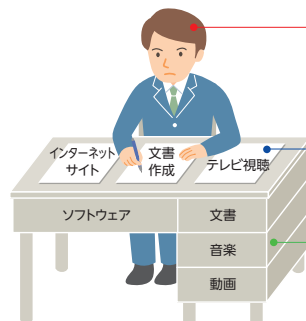
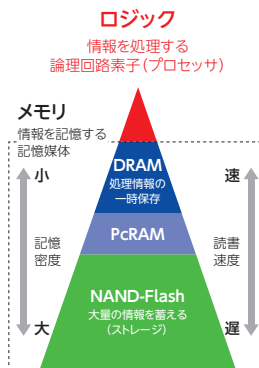
コラム メモリとロジックについて

メモリとは、「情報を記憶する記憶媒体」で、記憶密度や読み書き速度に応じて、DRAMやNAND-Flashといった様々な種類があります。

ロジックとは「情報を処理する論理回路素子(プロセッサ)」で、プログラムの計算を行います。

たとえるなら、メモリであるDRAMは「机の上の作業ノート」で、同じくメモリであるNAND-Flashは「引き出しの中のデータ集」、ロジックはいわば「頭脳」といえます。

回転の速い頭脳であれば短時間で情報を処理できますし、引き出しが大きければ大きいほどたくさん保存できます。従来は保存にHDD(ハードディスクドライブ)が使われていましたが、現在はNAND-Flashへの移行が急速に進んでいます。ロジックは、処理速度の性能向上のため、微細化が求められています。その配線工程にアルバックの技術が活かされています。



頭脳=ロジック

回転の速い頭脳であればどんどん処理できる

机の上の作業ノート=DRAM

机の上が広く整理され、ノートに考えたことを記録する(文書作成)と、作業が効率化

引き出しの中のデータ集=HDD(従来)→NAND-Flash

引き出しの容量が大きければたくさん保存できる

連結財務諸表

※記載金額は億円未満を四捨五入して表示しております。

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位: 億円)

科目	当第2四半期 連結会計期間 2018年12月31日現在	前連結会計年度 2018年6月30日現在
資産の部		
流動資産	1,874	1,920
現金及び預金	490	571
受取手形及び売掛金	896	873
たな卸資産	411	391
その他	82	95
貸倒引当金	△6	△9
固定資産	966	1,054
有形固定資産	635	643
建物及び構築物	307	318
機械装置及び運搬具	155	164
その他	174	161
無形固定資産	33	35
投資その他の資産	298	376
投資有価証券	126	256
繰延税金資産	98	73
その他	74	48
資産合計	2,840	2,974
負債の部		
流動負債	1,031	1,188
支払手形及び買掛金	519	556
短期借入金	149	215
その他	363	417
固定負債	301	245
長期借入金	201	141
繰延税金負債	0	0
その他	100	103
負債合計	1,333	1,433
純資産の部		
株主資本	1,381	1,318
その他の包括利益累計額	63	158
非支配株主持分	63	65
純資産合計	1,507	1,541
負債純資産合計	2,840	2,974

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位: 億円)

科目	期別 当第2四半期 連結累計期間 2018年7月1日から 2018年12月31日まで	前第2四半期 連結累計期間 2017年7月1日から 2017年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	54	215
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△61	△70
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△58	127
現金及び現金同等物の期首残高	543	476
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△6	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	480	603

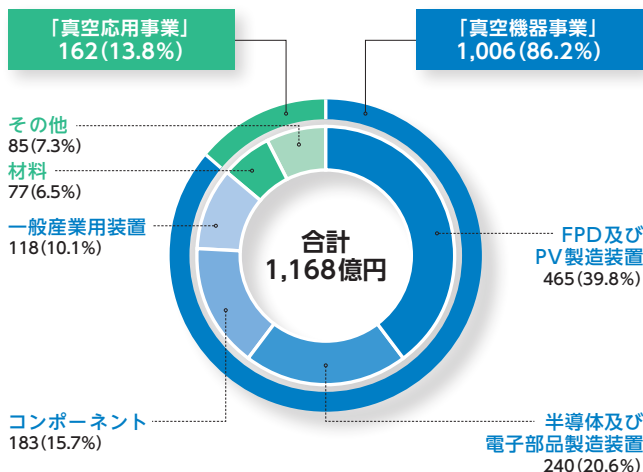
四半期連結損益計算書(要旨)

(単位: 億円)

科目	期別 当第2四半期 連結累計期間 2018年7月1日から 2018年12月31日まで	前第2四半期 連結累計期間 2017年7月1日から 2017年12月31日まで
売上高	1,168	1,253
売上原価	820	881
売上総利益	348	371
販売費及び一般管理費	193	184
営業利益	155	187
営業外収益	14	16
営業外費用	5	6
経常利益	164	197
特別利益	3	20
特別損失	—	1
税金等調整前四半期純利益	167	216
法人税、住民税及び事業税	35	41
法人税等調整額	14	5
四半期純利益	118	170
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	112	163

事業別売上高

(単位: 億円)



会社データ／株式の状況

会社概要 2018年12月31日現在

商号	株式会社アルバック ULVAC, Inc.
商標	ULVAC
本社	神奈川県茅ヶ崎市萩園2500番地
設立	1952年8月23日
資本金	20,873,042,500円
従業員数	1,272名(連結6,561名)

役員 2019年1月1日現在

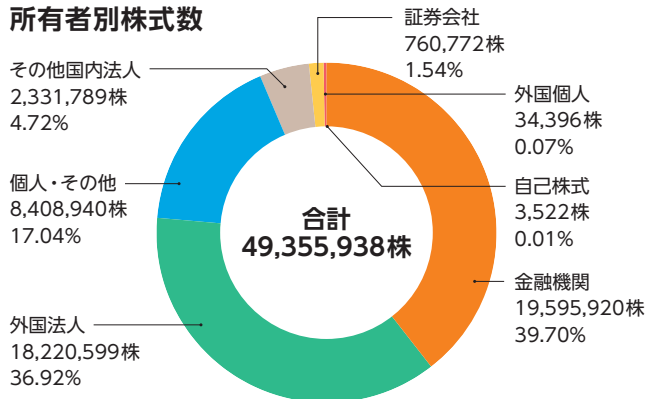
代表取締役執行役員社長	岩下 節生
取締役執行役員副社長	本吉 光
取締役常務執行役員	白 忠烈
取締役常務執行役員	佐藤 重光
取締役常務執行役員	石黒 雅彦
取締役相談役	小日向久治
取締役(社外)	御林 彰
取締役(社外)	内田 憲男
取締役(社外)	石田 耕三
取締役(社外)	中島 好美

専務執行役員	末代 政輔
上席執行役員	齋藤 一也
上席執行役員	柳澤 清和
執行役員	梅田 彰
執行役員	松本 亮
執行役員	蔡 有哲
執行役員	池田 和夫
執行役員	近藤 智保
執行役員	青木 貞男
執行役員	島田 鉄也
執行役員	衣川 正剛
監査役	伊藤 誠
監査役	矢作 充
監査役(社外)	浅田 千秋
監査役(社外)	宇都宮 功

株式の状況 2018年12月31日現在

発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式の総数	49,355,938株
株主数	17,460名

所有者別株式数



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	3,242	6.57
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,945	5.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,313	4.69
株式会社みずほ銀行	1,916	3.88
株式会社三井住友銀行	1,864	3.78
JP MORGAN CHASE BANK 385151	1,672	3.39
TAIYO HANEI FUND, L.P.	1,627	3.30
TAIYO FUND, L.P.	1,371	2.78
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	1,352	2.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,195	2.42

(注)持株比率は自己株式(3,522株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	9月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 6月30日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL.0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00(土・日・休日を除く)

住所変更など諸手続のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社等にお申し出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

三井住友信託銀行株式会社への
手続用紙(住所変更・買取請求・配当金振込指定など)のご請求
ホームページアドレス
<https://www.smb.jp/personal/agency/>

未払配当金のお支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

IRカレンダー

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	第2四半期 決算発表			第3四半期 決算発表			期末期 決算発表			第1四半期 決算発表	

定時株主総会

Webサイトのご案内

 企業情報はこちら <https://www.ulvac.co.jp/>



 IR情報はこちら <https://ir.ulvac.co.jp/ja/Top.html>



ULVAC 株式会社アルバック

本社・工場
〒253-8543 神奈川県茅ヶ崎市萩園2500番地
TEL.0467-89-2033

